

2008 WBF Championship "Senri-Series"

千里シリーズ 2019

ジョー・タカミ(レギュラーステージ優勝)

VS

白木健太郎(レギュラーシーズン 3 位)

白木健太郎 9年ぶり6度目の栄冠!

関東軍主将白木健太郎、昨年の雪辱を果たし 9 年ぶりに栄冠—

平成元年にスタートした WBF が新たな元号『令和』を迎えた 2019 年、その掉尾を飾る WBF 千里シリーズは 10 月 19 日、聖地『ボウル曽根』で開催された。

半年に及びレギュラーシーズンを最終戦逆転で勝ち抜いたジョー・タカミ選手への挑戦権を賭けてまず行われた 4 名参加の予選ラウンドでは、東京から当日移動での参戦で気合が入る白木選手が激烈なスコアで勝ち上がり、昨年はシーズン覇者として立ったファイナルの舞台へ 2 年連続で進出を果たした。

3 勝選手方式のファイナルラウンドでは、予選スコアが与えた衝撃そのままに白木選手が突き抜けるかと思いきや伸び悩むところへ、ハンデ差を生かした粘り強い投球でタカミ選手が『地上戦』に持ち込みシーズン覇者の意地を見せたが、最後はしっかり抜け出した白木選手が 3 勝 2 敗で千里シリーズチャンピオンの称号を得た。

白木選手の千里シリーズ勝利は 2010 年以来 6 度目。この間レギュラーシーズン勝者として 3 度ファイナルに臨んだがいずれも予選勝者に敗れており、長年の雪辱を果たした。

【構成 四谷大黒堂】

ジョー・タカミ
(レギュラーシーズン 1 位)

ファイナル
ラウンド

予選ラウンド

白木健太郎	(レギュラーシーズン 3 位)
杉原陽一	(第 6 戦 1 着)
城戸秀行	(第 7 戦 1 着)

※田中宏典(レギュラーシーズン 2 位)、藤原聡(ワイルドカード枠)両選手は出場権を獲得するも参加を辞退

予選ラウンド

記録的スコアで白木予選ラウンド突破！

ジョー・タカミ選手への挑戦権を賭けた予選ラウンドは、その参加資格を持つ5名のうち3名の参加により争われた。2 ゲーム勝負であり、序盤から順調にマークを重ねる各選手だったが、特に圧巻だったのは早朝に発つ新幹線で東京から参戦してきた白木選手 2、3 フレでダブルを取りながら4フレをオープンにしたものの、そこから目が覚めたかのようにストライクを連発。あれよあれよと言う間に10フレまで8連続ストライクを決めてハンデ込み248(素点256)という圧巻のスコアを叩き出してしまった。

9/	X	X	81	X	X	X	X	X	XXX	HDCP	TOTAL
20	48	67	76	106	136	166	196	226	256	-8	248

なんとこのスコア、1991年後期に松本誠司選手が叩き出してから28年間破られていないWBF記録と並ぶタイ記録である。ここまでのスコアが出てしまうと、杉原・城戸両選手も、ウォーミングアップを兼ねて予選参加者と投げていたタカミ選手も拍手するほかない。

衝撃と興奮が覚めやらぬままなんと第2ゲームは淡々と終了し、文句無しで白木選手がファイナルラウンド出場を決めた。

選手		第1ゲーム			第2ゲーム			最高点
		素点	HDCP	競技点	素点	HDCP	競技点	
白木建太郎	S-3位	256	-8	248	179	-8	171	248
城戸秀行	R6-1着	141	15	186	184	15	199	199
杉原陽一	R5-1着	169	-15	154	172	-15	157	157

※白木建太郎選手がファイナルステージ進出

ファイナルラウンド第1戦

地上戦からの10フレ勝負で白木先制！

いよいよ始まったファイナルラウンド、迎え撃つタカミ選手もウォーミングアップは充分とばかりに手堅くスペアを連発したが、白木選手は予選の反動か出入りの激しい序盤戦。なかなかハンデ差が縮まらない「地上戦」の様相を見せた。しかし後半タカミ選手がスプリットを連発したところを見逃さず、白木選手は6~7Fのダブルから息を吹き返して急追して10F勝負に持ち込み、タカミ選手がオープンとしたところに差し込んで逆転、緒戦をもぎ取った。

 ジョー・タカミ	9/	7/	9-	9/	63	9/	⑧-	⑧1	⑧1	9-	HDCP 30
	17	36	45	61	70	88	96	105	114	123	153
ハンデ込み 得点差	↑47	↑47	↑47	↑44	↑28	↑33	↑21	↑14	↑4	↓6	1勝
 白木建太郎	⑦1	X	9-	X	72	X	X	9/	6/	9/9	HDCP -8
	8	27	36	55	64	93	113	129	148	167	159

ファイナルラウンド第2戦

サバイバルレースを制してタカミ 1 勝！

1F から双方オープンとして始まった第2ゲーム、またもや地上戦の予感が会場を包んだが、そこから白木選手はターキーを披露して5Fにはハンデ差を埋めてタカミ選手に並ぶ。そこからストライクショーかと思いきや 7F のスプリットでケチがつき、「悩みが深い」とこぼしていた前半から盛り返してダブルで逃げ粘るタカミ選手に追いつけないまま再び 10F 勝負に。1 投目をストライクとして逆転ののぞみをつないだものの、続いて 7-10 ピンが残る痛恨のスプリットで失速。3 つのスプリットにことごとく勢いを削がれた形となった。

	9-	8/	X	9-	8-	8/	X	X	35	8-	HDCP 30
ジョー・タカミ	9	29	48	57	65	85	108	126	134	142	172
ハンデ込み 得点差	↑39	↑29	↑19	↑8			↑15	↑16	↑15	↑5	1 勝
					↓4	↓1					1 勝
	⑥2	X	X	X	9/	X	⑦-	8/	72	X⑧-	HDCP -8
白木建太郎	8	38	67	87	107	124	131	148	157	175	167

ファイナルラウンド第3戦

ついに覚醒！白木怒涛の5STで王手！

両選手とも 1F からストライクでいよいよ空中戦となるか。前半は双方ともマークをつなぎ、ハンデ差があるタカミ選手が徐々にリードを開く展開となった。白木選手は第1戦から「鬼門」として右フレームの攻略を挙げていたが、4~5F をオープンとして 52 ピン差となっていよいよ開き直り、裏(1-2 ピン間)狙いに切り替えると宣言。6F でラッキーなストライクを拾うとそこから 10F まで 5 連続ストライクを繰り出して一気に逆転。逆に突き放して王手をかけた。

	X	7/	X	5/	9-	8-	8-	6/	9-	X⑩1	HDCP 30
ジョー・タカミ	20	40	60	79	88	96	104	123	132	151	181
ハンデ込み 得点差	↑38	↑38	↑39	↑49	↑52	↑28	↑6				1 勝
								↓5	↓23	↓24	2 勝
	X	7/	X	72	8-	X	X	X	X	X7/	HDCP -8
白木建太郎	20	40	59	68	76	106	136	166	193	213	159

まさかの同点！タカミ辛くも徳俵で凌ぐ！

一気に決められるかと思われた白木選手だが、攻略したはずの「鬼門」右レーンが再び立ち塞がる。一度は縮まったハンデ差が中盤のスプリットで再び開き苦しい展開。安定感ある投球を見せるタカミ選手が優勢を保ったまま 10F 勝負となった。白木選手が先にパンチアウトを決めてプレッシャーをかけると、タカミ選手は1投目をスペアとしたが2投目に動揺があったか、ボールは左にそれて3ピン止まりで同点となった。「千里シリーズは同点の場合レギュラーシーズン勝者が勝ち」との規定によりタカミ選手が逆王手。最終戦にもつれ込むこととなった。

	72	⑧-	8-	6/	X	9/	8/	9-	9/	8/3	HDCP 30
ジョー・タカミ	9	17	25	45	65	83	102	111	129	142	172
ハンデ込み 得点差	↑27	↑16	↑8	↑10	↑21	↑20	↑30	↑19	↑17	0	2勝
										0	2勝
	X	9/	9/	6/	⑧1	X	⑧1	X	9/	X×X	HDCP -8
白木建太郎	20	39	55	73	82	101	110	130	150	180	172

白木ピンチにも動揺なし！堂々戴冠！

泣いても笑っても最終戦、というところでなんと白木選手は急な仕事の電話を受けて10分ほど中座。動揺しつつも素早く修正してターキーを決める。一方タカミ選手は微妙に惜しい投球が続くスペアが取れない。双方疲れが見えてきた後半、追討ちをかけるように白木選手に再度電話が。外部からの思わぬプレッシャーに9Fをスペアミスするが、タカミ選手にも余力なく差が縮まらず、矢尽き刀折れた格好で終戦。白木選手が千里シリーズ勝利を決めた。

	X	⑧1	⑦1	62	72	⑦2	9-	9-	⑧-	9-	HDCP 30
ジョー・タカミ	19	28	36	44	53	62	71	80	88	97	127
ハンデ込み 得点差	↑50	↑39	↑17								2勝
				↓4	↓15	↓24	↓23	↓32	↓33	↓44	3勝
	⑦-	9/	X	X	X	9/	8-	7/	81	9/X	HDCP -8
白木建太郎	7	27	57	86	106	124	132	150	159	179	171

激闘を終えて…



白木選手

これまで苦手意識を持っていた
曾根ボウルで 256 というスコア
を出せたことが自信になり、勝
利につながったと思う。

来季は関東軍でシーズンを 1-2
フィニッシュして、千里シリーズ
を東京で開催したい。

ジョー・タカミ選手

奇数ゲームを手堅く取り、偶数ゲ
ームはワイルドに投げるというゲ
ームプランで挑んだが、なかなか
計画どおりにはならなかった。

来季は当然シーズン連覇を目指
す。粘り強いボウリングで関東軍
の台頭を食い止めたい。

千里シリーズ過去の戦績

	1989	松本誠司	4(	○○○●○	)1	松本昌士
	1990	奥山満夫	4(	●●●○○○○	)3	下永義久
	1991	松本誠司	4(	○○●○○	)1	島裕二
※1	1992	松本誠司	4(	○○○○	)0	島裕二
	1993	松本誠司	4(	○○○○	)0	田中寿美子
	1994	松本誠司	4(	●○●○○○	)2	島和男
	1995	白木建太郎	4(	●○○○○	)1	田中久
	1996	野村正明	4(	○○●●△○●○	)3	松本誠司
	1997	杉原陽一	4(	○○○○	)0	松本香代
	1998	松本誠司	4(	○●○●○○	)2	白木建太郎
	1999	松本誠司	4(	○○○○	)0	杉原陽一
	2000	白木建太郎	4(	○○○○	)0	岩田修一
	2001	杉原陽一	4(	○●●○●○○	)3	ロバート・K
	2002	白木建太郎	4(	●●○○○○●○	)3	松本誠司
※2	2003	松本昌士	3(	○●○○	)1	☆松本誠司
	2004	☆白木建太郎	3(	○●●○△○	)2	松本昌士
	2005	松本昌士	3(	○○○	)0	☆白木建太郎
	2006	岩田修一	3(	●●○○○	)2	☆松本誠司
	2007	☆杉原陽一	3(	○○○●○	)2	奥山満夫
	2008	奥山満夫	3(	○●○○○	)1	☆島和男.com
	2009	☆杉原陽一	3(	●○○○	)1	奥山満夫
	2010	白木建太郎	3(	○○●○	)1	☆杉原陽一
	2011	☆松本誠司	3(	○○○	)0	藤原聡
	2012	馬場毅	3(	●○●○△○	)2	☆白木建太郎
	2013	杉原陽一	3(	○●○○○	)1	☆馬場毅
	2014	杉原陽一	3(	○●●○○	)2	☆馬場毅
	2015	城戸秀行	3(	○○○	)0	☆白木建太郎
	2016	杉原陽一	3(	●○○○	)1	☆松本誠司
	2017	☆島和男.com	3(	●○○●○	)2	ジョー・タカミ
	2018	田中宏典	3(	○●○○○	)1	☆白木建太郎
	2019	白木建太郎	3(	○●○●○	)2	☆ジョー・タカミ

※1 島裕二が前後期制覇をしているため、年間優勝は島裕二と記録。

特別企画の「千里 G1 クライマックス」として開催。

※2 2003年以降、千里シリーズの実施方式が変更。3勝先取で優勝。

☆印はレギュラーシーズン優勝